

令和6年度活動重点取組結果一覧表

資料8

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県退職者連合						○機関紙で被害防止の注意喚起を行った。		1
長崎県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会			○各幼稚園・認定こども園を通じて、地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において、「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動への協力を行った。				2
長崎市PTA連合会	○長崎っ子の約束「あ・は・は運動」について再確認し、メディアルールの徹底を呼びかけた。 ○メディア関連の研修会を実施し、フィルタリング設定の必要性について理解を深めた。 (各PTA) ○メディア関連の研修会を開催し、親子でルールを作成した。 ○メディア関連の研修会を親子で実施し、スマホ等の負の部分学んだ。	○県警のキャッチくんからの事案・犯罪予防の通知によりPTA会員に周知している。 ○県警機関no会議に出席し、情報を収集している。 (各PTA) ○PTAの役員が地域(自治会・育成協)の諸会議に出席し、情報の収集及び提供に努めている。 ○県警のキャッチくんから情報を収集している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○学校・自治会・老人会等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○単位PTAにおいて、学校・自治会・老人会・地域コミュニティ等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。 ○メディア関連の研修会を実施した。	○特殊詐欺被害防止活動への協力。	○暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議への参加、暴力追放パレードへの参加。		3
ダイヤモンドまちづくり連絡協議会	○ワークショップを開催。「ダイヤモンドのこれからについて思うこと」令和6年6月25日(火) 19:00～20:30 ダイヤランドふれあいセンター 参加者 31名。 当地も高齢化が進み、1984年団地が完成して移住してきた第1世代が、80歳～90歳になっている。自治会役員のみならず不足が問題に上がってきた。そこで高齢者と現役世代の交流を促進して組織の活性化を計る必要がある。全自治会に青年部を作り、現役で若い世代の住民を積極的に活動に参加させてはとの発表もあり。	○当協議会では、毎年関連機関及び各組織を代表する52名の委員が参加して、全体会を開催。その会には、大浦警察署小ヶ倉町交番の警察官を招いて県内及び、大浦署管内、地元の小ヶ倉町交番管内の犯罪及び交通事故の発生件数と、その内容を報告して貰っている。その場で安全・安心に関する防犯意識の向上と、交通事故防止の心構えについての講話をお願いしている。 参加者全員が身近な話として、質問が出たりして話に真剣に耳を傾けている。		○南小6年生「子ども110番の家」を訪問。令和7年3月7日(金) 20軒の110番の家を訪問 6年生 18名。 6年生の家庭科授業「学校と地域共生活動について」11:00～12:30 2時間限り率の先生方他に、13名の地域住民の方々が付き添いで参加してくれた。 生徒達が直に訪問して、感謝の意を綴った寄せ書きをお渡ししたら大変喜んでくれた。 顔見知りになっておくことで、何か困難な事柄が生じた時は、躊躇なく戸を叩けるように。	○地域の高齢者を対象に「特殊詐欺被害防止の講演会」を開催。令和6年11月17日(日) 10:00～12:00 ダイヤランドふれあいセンター 参加者 101名。 このところ特殊詐欺の被害者が急増しているため、大浦警察署に依頼して講演会を開催した。 内容が固い話なので、お招きする高齢者の方々に気分をほぐして頂くために、南小4年生27名の器楽の演奏会も一緒に行った。皆さんに大変喜ばれました。	○暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会。長崎市が平成20年から、毎年4月に開催している市民集会に発足当初から参加している。 市内の関係各団体の代表者が一堂に集まった集会の後、市内中心部でパレードを行い、それと同時に青パト見守り隊も、許可を貰って日頃の区域外(市内中心部)を車列を組んでのパトロールに毎回3人で参加。 活動報告は次の全体会にて行っている。	○第16回ダイヤモンド「ふれあいウォーキング」 令和6年10月27日(日) 毎年10月に実施。新型コロナの影響で途中3回中止になりましたが、ほぼ20年ちかく続けている。 そもそも、地縁・血縁何も関係の無い人々がある日突然移り住んで来てきた住宅地。互いの絆を深める必要から企画された、ダイヤモンド最大のイベント。これを通じて、お互いが顔見知りになり親睦をはかる。 ゴールした後は参加者全員「振る舞いぜんざい」で懇親会。 Aコース(女神大橋往復) 6.6km 参加者数 54名 Bコース(団地内の公園巡り) 2.4km 参加者数 31名。	4
(公財)長崎県老人クラブ連合会					○単位老人クラブにおいて学校・自治会等と連携し「地域(子供)見守りパトロール活動」を実施している。			5
(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会	○外出する時や車から少しでも離れる時は鍵をかけるよう声かけした。	○地域の行事等に積極的に参加し、情報収集に取り組んだ。	○近隣の方へ積極的に声をかけた。 ○子どもの登下校時にあいさつ運動や見守り活動を行った。	○あいさつ運動や見守り活動を行った。	○暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会へ参加。 ○ポスターやパンフレットの掲示及び配布を行った。			6
長崎県警友会連合会	○各種イベント会場等においてチラシの配付や広報啓発活動を実施した。 ○大型商業施設で万引き事案の発生防止のため防犯パトロールを実施した。	○警察本部及び警察署との協議会や意見交換会を通じて犯罪情勢等の情報を収集し、各種イベントや会合においてチラシの配付等により安全情報を提供した。	○団体関係者が、自治会・老人会活動において暴力追放、関わらない、接触があった場合の通報等の声かけを実施した。	○児童の登下校時の見守り活動により児童の犯罪被害防止に努めた。	○年金支給日における金融機関、ATMの警戒及び利用者へのチラシ配布により被害防止に努めた。 ○各種イベント会場等においてチラシ配付による被害防止に努めた。	○長崎県暴力追放運動推進センター賛助会員に加入するとともに、事務所等に暴力追放チラシを掲示し、暴力追放の広報啓発活動を推進した。	○警察署長等から委嘱を受けた288人が県下において2,755回、7,053人が児童の見守り活動、各種イベント会場での犯罪防止、交通事故防止の広報、防犯パトロールによる地域の安全・安心活動に従事した。	7
日本放送協会長崎放送局					○ニュース・情報番組「ぎゅっと!長崎」内で”その電話詐欺ばい”のコーナーを展開し、被害防止の情報を発信。			8
(株)長崎新聞社					○多発するニセ電話詐欺やSNS詐欺の被害を防止するため、個々の事件の概要や被害統計などを積極的に記事化し、新聞紙面やインターネットを通して発信した。			9
国立大学法人長崎大学	○アルコール過剰摂取に対する注意喚起を適宜行った。							10

令和6年度活動重点取組結果一覧表

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
(公社)長崎県防犯協会連合会		○住民の規範意識向上を目的に落書き消去ボランティア事業を推進した。令和6年度は、長崎市籠町所在の道路沿いのブロック塀において、防犯ボランティア、自治会会長会、長崎地区防犯協会員約30名の参加を得て、また、日本塗装工業会会員の支援を受けて、落書き消去活動を実施して、地域の規範意識を高めた。	○月間広報紙「防犯ながさき」を関係団体に配布(送付)したほか、ホームページに掲載するなど、情報発信に努めた。 ○安全情報について、県警と随時情報交換を行い、パンフレット等で情報を提供した。		○「防犯ながさき」に子供・女性に対する犯罪防止について、記事を掲載し広報を実施した。 ○子供をインターネット犯罪から守るためのチラシなどを県下各地区に配布した。	○ニセ電話詐欺被害防止広報大使の歌手「前川清」出演によるニセ電話詐欺防止のスポットCMを、ケーブルテレビに放映して広報した。 ○長崎新聞およびNBCラジオで、ニセ電話詐欺防止の記事や放送を実施し○各地区防犯協会及び県警と合同で被害防止を呼び掛けるキャンペーンを実施した。 ○風俗営業等管理者講習において、受講者に対してニセ電話詐欺防止事例のDVDを視聴させ被害防止を実施した。 ○県内公共交通機関(4社)のバスにラッピング及び車内防犯ポスター掲示により、被害防止を広報した。 ○県庁の駐車場横断幕掲示場に「STOP!ニセ電話詐欺」を掲示広報した。	○風俗営業等管理者講習会において、暴力追放に関して啓発・広報を実施した。 ○防犯標語募集の際に「暴力団排除」を課題として募集し、入選作品の表彰を実施し、暴力追放機運の醸成を図った。	
大村市竹松地区防犯協会		○竹松地区20町内会長一丸となり「かぎかけんば」「ひと声かけんば」「見守りせんば」セーフティモデルタウン計画を継続実施。 ○竹松駅前ふれ愛ステーションを拠点として、20町内会及び富の原小・竹松小学校・健全協合同による夜間(20時~21時)駅周辺の防犯パトロールと駅乗降者の見守りの実施。	○大村警察署生活安全課・大村市安全対策課と連携し、県警発信のキャッチくんの活用等20町内会長へニセ電話詐欺発生情報を伝える。 ○毎週2回実施している青色回転灯付広報車によるパトロールの際は、気をつけて帰るよう(マイクで伝え)子ども達に手を振り大きな声で挨拶を実施。	○町内会役員及び班長会議、老人定例会において近隣住民及び児童等に対し、「挨拶」運動の積極的な実施をお願いする。 ○毎週2回実施している青色回転灯付広報車によるパトロールの際は、気をつけて帰るよう(マイクで伝え)子ども達に手を振り大きな声で挨拶を実施。	○小学生の下校時間に合わせ、毎週火・木(15時~16時)の間、当防犯協会の青色回転灯付広報車で、パトロールの実施(年間84回延べ168名) ○各町内会独自計画で公園の清掃、樹木の剪定、除草等環境美化活動の実施。	○県警発信のキャッチくん及び新聞の情報を20町内会長に伝達、啓発活動を実施。	○暴力追放大村市統一パレードに参加し、啓発活動の実施。	○防犯灯の新設。 ・大村市連合防犯協会(竹松地区新設→24基) ○犯罪が起きないよう安全・安心横断幕を公園・学校・竹松駐輪場に掲示し、駐輪場仕様や及び地域住民に対し啓蒙。
長崎県少年補導員連絡協議会		○各地区ごとに随時街頭補導を実施。 ○店舗に対する万引き防止の協力依頼等の実施。 ○学校、駅周辺等における自転車の防犯診断を実施。	○各種非行防止懇談会、会合へ参加し、少年の非行防止・犯罪被害等について広報啓発を実施。 ○各地区の行事等に合わせた少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。	○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。	○少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。 ○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。 ○登下校ルート及び駐輪場等における防犯診断の実施。	○県内のニセ電話詐欺被害状況について研修し、各種会合において広報啓発を実施。		
浦上警察署管内少年を守る母の会連合会		○あいさつ運動等を通し、子どもの規範意識を高める。	○学校等へ出向き、情報収集を行う。 ○朝の交通安全指導。					
長崎県二輪車自転車商協同組合		○自転車の盗難防止と盗難自転車の被害回復のため、自転車防犯登録の必要性について自転車販売店で説明、防犯登録をしてもらうように努めた。						
(一社)長崎県建設業協会			○「見守り新鮮情報(国民生活センター)」、「もってこいネットワーク通信(長崎県警本部)」、「長崎県消費者被害防止ネットワーク情報(長崎県消費者センター)」の到着情報の所内回覧。HPにてリンク集の掲載。					

令和6年度活動重点取組結果一覧表

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
(一社)長崎県建築士会			<p>○仕事場への行き帰りの挨拶が一時期増えてきたが、感染症以降明らかに人と人のコミュニケーションが希薄、あるいは粗雑になってきている。コロナ感染症時に人と人の接触を避けさせた結果が今、明らかに表れている。閉じこもりの影響か、挨拶も減り、声の掛け合いがなくなったように感じる。私は本来東京で生まれ育った人間だが、路面電車やバスなどの公共交通機関車内における声の掛け合いが極めて少ないことが特に気に掛かる。元々おとなしい県民性なのかかわからないが、降車の際、黙って後ろから前の人を押し出すような所作が当たり前となっているようで、余所者からしたら少し信じがたい通勤風景である。さらにはマスク着用の弊害で感情がわかりづらくなり、犯罪増加に繋がりがねない危機感も感じる。コロナ以前に比べると、自分勝手な行動をする人たちが圧倒的に増えた。乗り物に乗る際、並ぶことをせず、我先にドアに集中するなど、社会的一般的マナーを守れない人たちも確実に増えている。注意をしてもそしらぬふりが多い。これは若年層の話ではなく、中高年の話で、このような姿を見た子供がまともに育つわけがない。車の運転も同様で、世間全体が自分勝手、粗雑、粗暴になってきている。人の話を聞かない人間が増えている。また、近年では子供たちに気軽に声を掛けることすら「通報案件」となる事例も増え、さらなる人間関係の危機感を感じる。このような社会風潮がますます子供たちを犯罪に巻き込む環境になりかねないことに危機感を感じた。声掛けがおこないつらい社会に不安を感じる。間違った正義感が増えており、次世代に向けた社会全体の課題であるといえる。このような世の中になり、人としてのコミュニケーションの大切さを皆で一から考え、生きやすい社会が必須である。</p>					17
(一社)長崎県警備業協会	<p>○警備業者による警備業務を通じて、ATMコーナーの警戒及び利用者に対して積極的に声掛けを実施し、ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の防止に努めた。</p>	<p>○「安全・安心まちづくりパートナーシップ事業所」として、事務所に職を掲げてパートナーシップ事業所であることを来所者等に周知を図るとともに、街頭における広報キャンペーンや清掃活動を通じて、地域への安全・安心の提供と、安全情報の収集を推進した。</p>		<p>○地域安全パトロール隊として青パトの登録を行っている警備業者(トラスト1)において、長崎市立古賀小学校校区内における見守り活動を実施した。 ○防犯指導技能養成研修会に参加して、地域の安全・安心まちづくりのための施策等を習得した。</p>	<p>○警備業務を通じて、ATMコーナー警戒及び利用者に対し、積極的に声掛けを実施し、ニセ電話詐欺の被害防止に努めた。 ○協会発行の機関誌にニセ電話詐欺等被害防止の広報文を掲載したほか、11月1日に実施した「警備の日」街頭キャンペーンにおいて、長崎県警察本部作成のSNS型投資・ロマンス詐欺被害防止のチラシ300部を通行人に配布し、広報啓発活動を実施した。</p>	<p>○暴追センターの理事会に協会会長が出席した。 ○暴力追放企業等安全対策懇話会に出席し、弁護士による講話等により、暴力団追放の機運を高めた。 ○令和6年度暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会及びパレードに参加した。</p>		18
させば四ヶ町商店街協同組合	<p>○街内放送で繰り返し広くアピールすることで、スケートボード・自転車の通行・歩きタバコが減少した。</p>							19
(株)ファミリーマート九州リージョン				<p>○セーフティステーション活動を通して、子ども・女性の駆け込み対応の実施。⇒駆け込みがあった際は各店にて対応。取組結果は日本フランチャイズチェーン協会に報告。</p>	<p>○お客様への声掛けによる未然防止を推進。⇒各店舗にて声掛け実施。防止関連掲示物の設置。</p>			20

令和6年度活動重点取組結果一覧表

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県校長会		○教職員自ら子供たちの手本となるような言動を心掛けるとともに、日頃の学校生活における生活指導により規範意識の向上を図った。 ○問題が起こったら、時期を逃さず指導を行った。	○地域の会議、行事等にはできる限り参加し、情報交換を行った。	○登下校時の挨拶や声掛け等、地域の方にも関わっていただいた。	○自分の身を守る大切さを指導した。「いかのおすし」等	○警察からのポスターやパンフレット等を校内に掲示した。	○警察からのポスターやパンフレット等を校内に掲示した。	21
長崎県高等学校長協会		○各校において、薬物乱用防止教室等を実施。 ○鍵かけ運動の実施。	○ネットワークを通じて各校で配信。	○挨拶運動の実施。	○情報モラル教育を実施している。	○金融教育を実施している。	○いじめ防止活動を推進している。	22
長崎県私立中学高等学校協会		○ココロねっこパレードへの参加および各私立学校PTAへの参加呼びかけ。	○もってこいネットワーク通信の回覧。					23
長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会			○各幼稚園・認定こども園を通じて、地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において、「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動への協力を行った。 ○園の近隣住民の方に対して教職員や園児の積極的なあいさつを心がけた。	○「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」への参加。	○各地区の警察署等からの資料の提供を行った。		24
長崎県PTA連合会							○子どもに思いやりの心を育てるために、「第18回いじめ防止標語コンテスト」を実施した。また、家庭教育力の向上と親子の絆を深めるために「三行詩コンクール」を実施し、優秀作品を県P連において表彰するとともに日本PTA全国協議会へ推薦した。	25
長崎県私立中学高等学校PTA連合会		○ココロねっこパレードへの参加および各私立学校PTAへの参加呼びかけ。	○もってこいネットワーク通信の回覧。					26
県民会議壱岐支部		○ゴミのポイ捨てに関して、市の関係機関と連携し立て看板を設置した。	○独居の高齢者に対し、自治公民館への回覧等の際に安否確認を促す取り組みを行った。	○事業所（職場）内での声かけ、挨拶を推進した。	○市内の小学校新入生に対して、構成員である壱岐市防犯協会連合会から防犯ブザーを配布した。	○ニセ電話詐欺被害防止対策として、支部構成員である壱岐市防犯協会連合会が、自治公民館の依頼を受け出前講座を開催した。	○長崎県が開催する「不当要求行為対策研修会」に支部構成員が参加し、暴力追放及び不当要求に対する意識向上を図った。	27
県民会議五島支部		○防犯巡視活動時、駐車車両の防犯診断を実施した。 ○防犯パレードへの参加。 ○薬物乱用防止のポスター掲示と街頭キャンペーン参加。	○関係団体の会議へ出席。		○幼児施設へ防犯ブザーを配布。	○年金支給日に商業施設での街頭キャンペーンへ参加。	○暴追協と協力して啓発グッズを製作。	28